

薬事委員会 WG 記録

日 時：平成 31 年 3 月 4 日(月) 17 時 30 分

場 所：薬剤部・カンファランス室

出席者：諏訪、池田、加納、中島、堀、安田、山内

欠席者：田中

薬局等出席者：井口[岐阜薬科]、宇野[たんぽぽ]、櫻井[薬剤]

協議事項

1. 院外処方品目の採用・中止数について

今年度の薬事委員会 WG での院外処方品目数は、採用が 58 品目、採用中止が 30 品目であったが、薬事委員会において院外採用薬の見直しを行ったことから、全体としては減少したことを報告した。しかしながら、他の病院と比べて院外処方品目数が多いことから、今後も更なる適正化を行う必要があることを確認した。

2. 院外処方申請品目の採用について

新たに申請された 9 品目(セリンクロ錠 10mg、サムスカ顆粒 1%、トラディアンス配合錠 AP、メトアナ配合錠 LD・同 HD、タリージェ錠 2.5mg・同 5mg、ツムラ二朮湯エキス顆粒、フェントステープ 0.5mg)について協議の結果、採用を承認した。ツムラ二朮湯エキス顆粒は過去に使用頻度低下により中止となった経緯があり、1 年後に再評価することとなった。上記品目の採用に伴い、同効薬の 3 品目(ラシックス錠 40mg、ウチダの八味丸 M、ワンデュロパッチ 3.4mg)を採用中止とした。

3. 院外処方品目の採用中止について

既に同一成分同一規格の後発品への処方移行が進んでおり、全診療科へ確認がとれたプルゼニド錠 12mg を採用中止とした。

4. 院内緊急購入申請品目について

新たに申請されたビーリンサイト点滴静注用 35μg について協議され、使用用途や必要性について確認した。

次回薬事委員会 WG の開催日時を、平成 31 年 4 月 1 日(月)とした。